

データベース部門

学内の業務系データベースの調査

データベース部門／工学部 西田 渉

本学内の業務系データベースについて、公開可能な範囲で調査を行いました。センター運営委員経由の調査、学内の Web 情報等から調査しました。これまでの調査で明らかとなった業務系データベースの名称は下表の通りです。これらのデータベースシステムは端末室（教育用）などに配置された一部の端末や VPN 接続による外部から接続された端末を除いて、本学の長崎大学キャンパス情報ネットワーク（NUNET）に接続された情報端末からのみアクセスが可能です。本稿では、特に 2008 年度に刷新されたシステムについて次項にて紹介します。

表：業務系データベースの名称

番号	名 称	部 局
1	評価基礎データベースシステム	総務部
2	研究者総覧データベースシステム	研究国際部
3	長崎大学職員録システム	総務部
4	長崎大学規則集管理システム	総務部
5	現行法令検索システム	総務部
6	就業情報管理システム	総務部
7	統合文書管理システム	総務部
8	スケジュール管理システム	総務部
9	拾得物検索掲示板	総務部
10	長崎大学物品等請求・出張旅費システム	財務部
11	出張旅費システム	財務部

資料 2008 年度に導入、更新された業務系データベース

「学内の業務系データベースの調査」にて紹介しましたデータベースのうち、2008 年度に新規に導入、もしくは更新されたものの概要です。

番号	2	
名称	研究者総覧データベースシステム	
管理	研究国際部	
概要	<p>このデータベースは本学に在籍する研究者とその教育研究活動に関する情報を広く社会に紹介するものです。これまでは長崎大学共同研究交流センターにて管理、運用されていましたが、さらに発展的な情報を提供していくために、「評価基礎データベース」に登録されたデータと連携するように更新しました。この研究者総覧データベースにて表示されるデータは、教員各自が入力した内容に基づいており、日本語と英語での表示が可能です。</p> <p>このデータベースは長崎大学公式 Web サイトに直接リンクされていて、どなたでも容易に検索、閲覧することができます。</p>	

番号	6	
名称	就業情報管理システム	
管理	総務部	
概要	<p>このシステムはいわゆる「タイムカード」システムのネットワーク版ともいえるべきものです。長崎大学には 2,000 名をこえる職員が働いており、その労働の形態も多様です。労働の形態に応じて、勤務時間や年次休暇の取扱いなど、適用される法律や学内規則が異なるため、勤務時間に関する情報を一元的に管理し、効率化を図るためのシステムを全学規模で導入しました。これに伴って、事務系職員や技術職員、看護師などの職員証が IC カード化されました。</p>	

番号	11	
名称	出張旅費システム	
管理	財務部	
概要	<p>これまで、出張に際して処理する必要のある、紙媒体による旅行命令などの稟議、旅費・日当等の計算、確定した旅費支給額の振込といった業務を外部委託するのに伴い導入されました。</p> <p>このシステムの導入によって、申請者による出張申請、事務部門における命令権者による出張申請の決済、出張報告等を委託業者の Web アプリケーション上で処理することができるようになりました。また、このシステムでは、航空機のチケットやパック旅行などの手配も業者に委託でき、出張に伴う旅行者の立替負担が軽減できるというメリットもあります。</p>	